



～今回のMPMでの政策変更について、「引締」の見方が2016年1月の調査開始以来初めて全体の半数以上を占め、全回答者（152先）の63%まで大幅に増加。3か月先の金利予想では、短期・長期間わず一般的に「上昇」の見方が一段と強まり、無担保コールON金利・2年国債金利予想で9割超、10年国債金利予想で8割超となった。

【調査の総括】

- 今回のMPMでの政策変更について、「引締」の見方が調査開始以来初めての水準まで大幅に増加し、全体の63%を占めた。一方、政策変更なしを予想する先は減少（99% → 36%）。「緩和」の見方はわずかであった。
- 3か月先の無担保コールON金利予想は、「上昇」を想定する先が全体の9割超に達し、大幅に増加（38% → 93%）した。一方、「不変」を想定する先が減少（61% → 7%）し、「低下」を想定する先はなかった。
- 3か月先の国債金利予想では、「上昇」の見方が一段と強まり、前回から大幅に増加（2年債 63% → 93%、10年債：74% → 87%）。一方、現状対比「不変」の見方は減少（2年債 36% → 6%、10年債：25% → 13%）。「低下」の見方は2年債では全体の1%で、10年債ではいなかった。

【調査の概要】

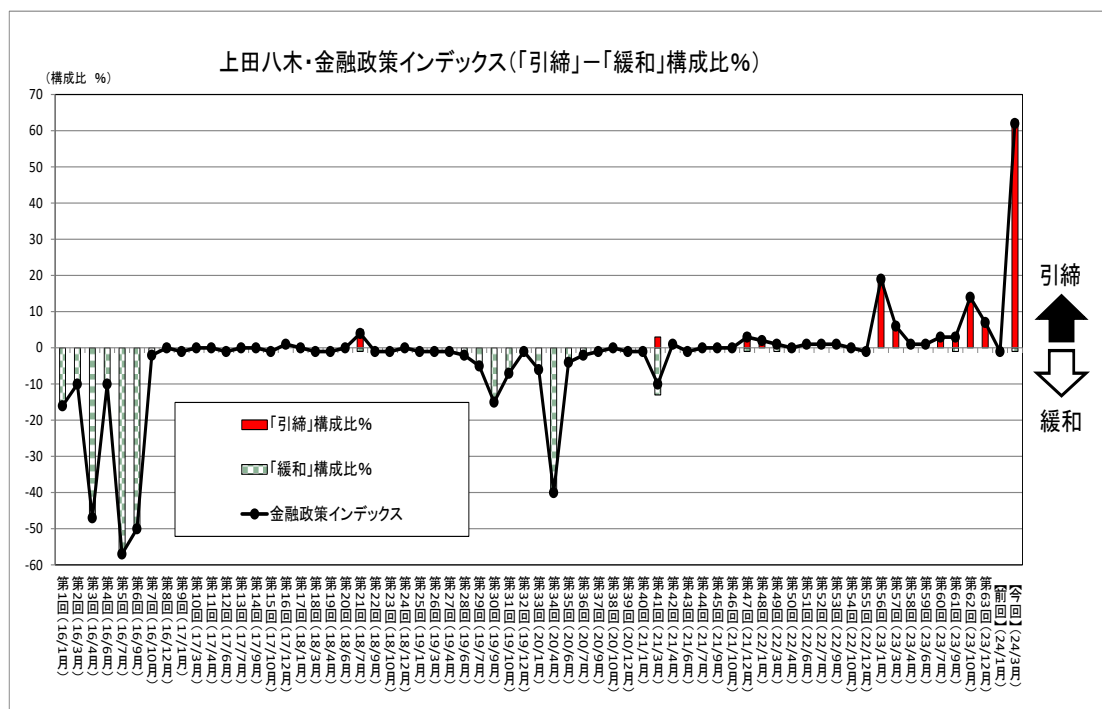
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者（156先）
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2024年3月12日～14日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	97.4% （回答者数152先 < Q 1 における回答者数 >）

【調査の結果】

(Q 1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（3月18日～3月19日）における決定について

回答者の36%が「不変」の見方。「緩和」の見方は1%。「引締」は、63%。

上田八木・金融政策インデックス（「引締」－「緩和」構成比%）は、「62」（前は▲1）であった。



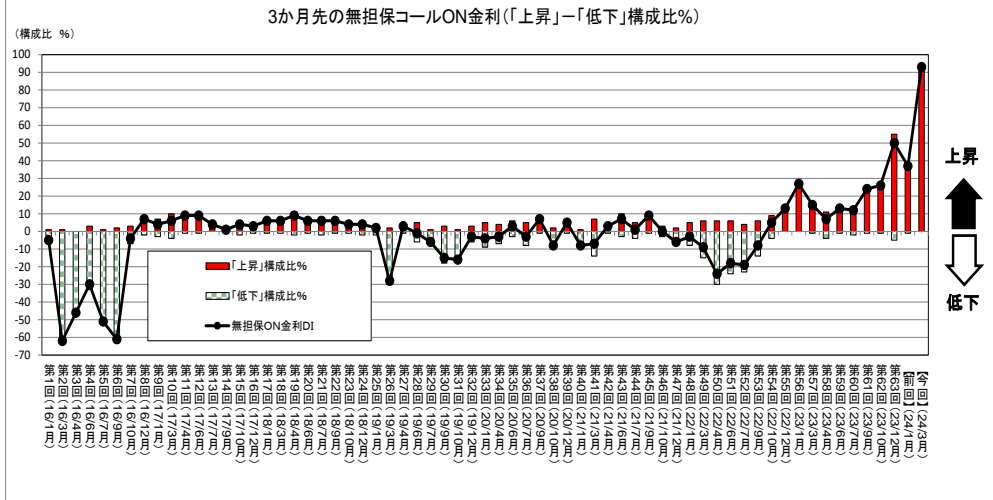
(Q 2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の93%が「上昇」と予想、0%が「低下」を予想、「不変」とみている先は7%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+5.5%ポイント(前回3.8% → 今回9.3%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回1% → 今回0%)。

「不変」とみる先は▲5.4%ポイント(前回6.1% → 今回7%)。



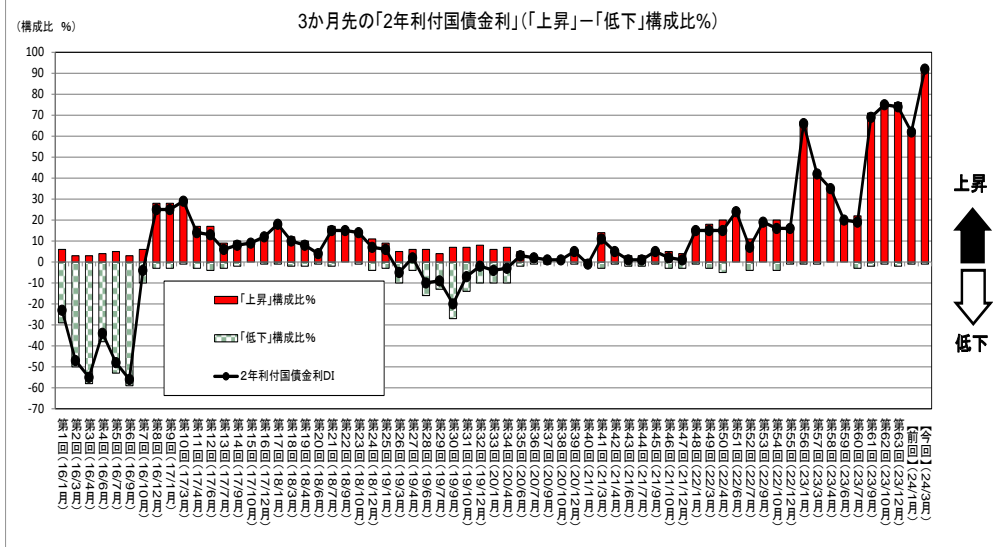
(Q 3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の93%が「上昇」を予想、「低下」とみる先は1%で、「不変」を予想した先は6%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+3.0%ポイント(前回6.3% → 今回9.3%)。

「低下」とみる先は±0%ポイント(前回1% → 今回1%)。

「不変」とみる先は▲3.0%ポイント(前回3.6% → 今回6%)。



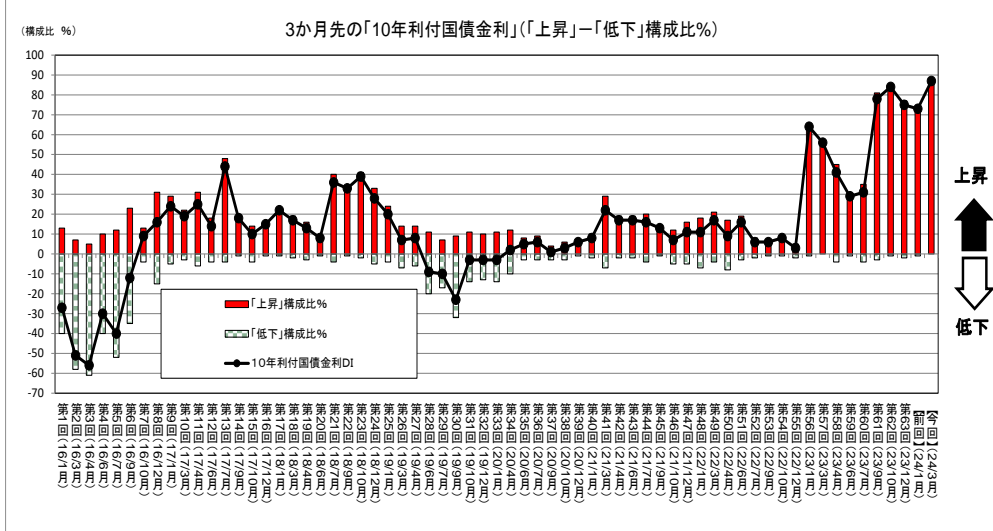
(Q 4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の87%が「上昇」を予想、0%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は13%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+1.3%ポイント(前回7.4% → 今回8.7%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回1% → 今回0%)。

「不変」とみる先は▲1.2%ポイント(前回2.5% → 今回1.3%)。



【調査結果の詳細】

調査日	2024年3月12～14日
調査先	156先
回答率	97.4%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（3月18日～3月19日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	± 0
不変	36	99	▲ 63
引締	63	0	+ 63
<hr/>			
上田八木・金融政策インデックス（「引締め」-「緩和」構成比%）	62	▲ 1	+ 63

（Q2）3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	0	1	▲ 1
不変	7	61	▲ 54
上昇	93	38	+ 55
<hr/>			
短期金利予想DI	93	37	+ 56

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	1	1	± 0
不変	6	36	▲ 30
上昇	93	63	+ 30
<hr/>			
2年国債金利予想DI	92	62	+ 30

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回1月19日)	変化幅
低下	0	1	▲ 1
不変	13	25	▲ 12
上昇	87	74	+ 13
<hr/>			
10年国債金利予想DI	87	73	+ 14

【本調査に関する照会先】 企画部 島本、青木
(電話 03-3270-1475)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会